



青き楓

島高だより
平成30年10月号
(通巻第151号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

しまこう

校長 渡邊 孝経

今年も島高同窓会が各地（大阪、福岡、長崎、東京、島原）で開催されている。どの会場も多数の出席者で賑わい、10月6日（土）東京・中野サンプラザで行われた「第28回関東島高（しまこう）同窓会総会・懇親会」でも285名もの出席があり、大変な賑わいであった。

その懇親会で、近藤登一（昭和35年）、寺田誠吾（昭和41年）両特別顧問からご挨拶をいただいた。近藤先輩からは、「原城跡が世界遺産になり、世界ジオパークの認定、下村脩氏のノーベル賞とあわせて3冠王になった。これは島原だけだ」と故郷を誇りに思う気持ちがひしひしと伝わる挨拶をいただいた。寺田先輩からは「『島高』の呼び方（通称）は『しまこう』であり、『しまたか』ではない。苗字を違って言えば気持ちが悪い。どうか全生徒にそのことを徹底するように」と校長である私に強いメッセージが送られた。同窓生としての母校愛そのままの言葉であり、私も全く同感である。生徒、保護者、地域にあらためて確認するため、今号ではこのことに触れてみたい。

しかし、いつから「しまたか」という呼び方が始まったのか。私も卒業生（31回生）の一人だが、不思議に思っている。少なくとも私達の年代で、そういう呼び方をしている者は一人もいない。周りの人達に尋ねてみると、34回生の時に島高以外の人が言っているのを聞いたことがあるということが確認できたが、その後、徐々に「しまたか」という呼び方が出てきたのかもしれない。在校生にもそのことを尋ねてみると、中学校時代に先生も含めて言っていたとのことであるが、入学してからは「しまこう」という呼び方に統一している、ということである。

本校の応援歌「島高節（しまこうぶし）」、歌詞の「学生さんは島高生（しまこうせい）」、エール「フレフレ島高（しまこう）」、島高魂（しまこうた（だ）ましい）、島高健児（しまこうけんじ）などなど、「しまこう」以外の呼び方は一つもない。創立120周年が近づいているこの時期に、あらためて言う、『島高』は『しまこう』であり、決して『しまたか』ではない。

そして在校生は「島高生（しまこうせい）」として・・・という冠をつけて、考え、行動する人であって欲しい。同窓の先輩方にも「島高（しまこう）〇〇回生」として母校を見守り支援していただきたい。そして学校と同窓会、保護者、地域が一体となった「島高（しまこう）」でありたいと願っている。

11月の主な行事予定

- | | |
|--|--|
| 1日(木)開校記念日
九州大学研修旅行(1・2年希望者)
大学別オープン模試(3年) | 17日(土)土曜講座(3年) |
| 2日(金)芸術鑑賞会(島原文化会館13:30~)
県高校駅伝大会(小浜) | 20日(火)期末考査時間割発表(2年)
体育部活動生支援学習会(~22日) |
| 3日(土)進研実力テスト(1年・2年 ~4日)
進研マーク模試(3年 ~5日) | 22日(木)期末考査時間割発表(1年) |
| 10日(土)大学別オープン模試(3年 ~12日) | 24日(土)全統マーク模試(3年 ~25日) |
| 13日(火)授業公開(~14日) | 27日(火)期末考査(2年 ~30日) |
| 14日(水)島高青楓塾(体育館13:30~) | 29日(木)期末考査(1年 ~12/4) |
| | 12/1(土)島P連秋季研修会(南風楼) |
| | 12/4(火)~7(金)修学旅行(2年) |



国体・ユースオリンピック結果報告

～福井しあわせ元気国体～

レスリング競技

少年男子フリースタイル 55kg級 5位 内野 浩聖

剣道競技

少年女子 3位

松田 美結女、岩永 遥佳、児島 那歩、岩本 瑚々



応援ありがとうございました!

～第3回ユースオリンピック競技大会(ブエノスアイレス)～

陸上競技

男子 100m 銅メダル(3位) 池田 成諒

CONGRATULATIONS



BUENOS AIRES 2018
YOUTH OLYMPIC GAMES

島原高校OBも活躍しています!

福井国体 レスリング競技

成年男子フリースタイル 86kg級
優勝 65回生 松坂 誠應さん

剣道世界選手権

9月14日～16日まで韓国で開催された剣道の世界選手権に64回生の林田匡平さんと68回生の竹中美帆さんが日本代表として出場し、男女とも見事団体優勝しました。



3年生激励会

■10月11日(木) 3学年主任 本多 敏高

センター試験まであと100日という節目の日に、3年生激励会を開催していただきました。211名がセンター試験に出願し、自己最高得点を目指し毎日必死に学習に取り組んでいます。また、公務員試験や推薦入試・AO入試など一足早く受験している生徒もおり、各々が進路実現に向け正念場を迎えています。

激励会では異動された先生方からのビデオメッセージが流れた後、PTAから合格祈願のしおりが、1・2年生から心のこもった色紙が手渡されました。その後3年生各クラス代表による決意表明を行いました。多くの人に支えられていることに感謝し、一日一日を大切にしながら仲間たちとともに頑張っていきたいと力強く語ってくれました。



PTAから合格祈願のしおりを贈呈



1・2年生から激励の色紙を贈呈

理数科1年生「地学巡検」

理数科担当 寺井 邦久

10月23日(火)に理数科1年による、島原半島世界ジオパーク巡検が行われました。

①垂木台地では平成噴火の地層を観察しました。大野木場小学校を焼失させた火砕サージが2cmの厚さで残っているのが印象的でした。

②旧大野木場小学校では1991年9月15日に焼失した校舎を見学しました。この日、島原高校では運動会が開催されていたそうです。

③深江断層、布津断層で島原市が合計150mも沈下している様子を遠望することができました。

④竜石海岸では、雲仙火山のどん底を観察しました。土石流の礫の丸さの違いから雲仙の成長がわかるという話は火山学者のすごさを感じました。

⑤昼食後、早崎海岸で玄武岩を観察しました。430万年前に島原半島で最初に噴火した場所で、半島の成長の歴史を感じました。

⑥雨が迫っているという情報に先を急ぎましたが、最後に雨に捕まってしまいました。雨の中での安山岩の標本探しは大変でした。

1日を通して島原半島の成り立ちがよくわかる巡検でした。



旧大野木場小学校

竜石海岸

早崎海岸



津波見海岸での安山岩探し

生徒感想より

自分が住んでいる島原半島に、こんなに見所があったなんて初めて知りました。普段通っている道が断層だったり、ほんとに身近な場所にもジオパークがあるんだなと思いました。中学生の時行ったことがある場所もありましたが、新たに気づくことがあり、楽しむことができました。今回のジオツアーでは普通科にはない貴重な体験をすることができ、理数科でよかったと思いました。

中学生対象 第3回学校説明会

10月13日(土)に中学生対象の第3回学校説明会を実施しました。当日は、中学生66名、保護者・引率27名と多くの方々にご参加いただきました。今回の説明会では、高校入試に関する説明、生徒による学校紹介や理数科紹介、体験授業などが行われました。

ご参加いただいた中学生のみなさん、保護者の皆様、ありがとうございました。



体験授業の様子

読書感想文校内コンクール

今年も「読書感想文コンクール」を実施しました。1・2年生の夏休みの課題として提出された読書感想文から、事前審査によって数編を選び、その原稿を印刷・配付し、放送部が朗読します。生徒・職員は原稿を目で追いながらそれぞれの作品を評価します。どの作品も高校生の豊かな感性が瑞々しく表現されていて、とても有意義な催しでした。上位3名は県のコンクールへ進出します。

最優秀賞

1-1 古川 明星「思いやるといふこと」(有川浩『レインツリーの国』)

優秀賞

2-3 生駒 羽蘭「七年の時を経て」(彩瀬まる『暗い夜、星を数えて 3・11被災鉄道からの脱出』)

2-1 野田 皓子「『家出ファミリー』を読んで」(田村真菜『家出ファミリー』)

優良賞

2-4 出田 千尋「事実を知ることの大切さ」(令丈ヒロ子『パンプキン! 模擬原爆の夏』)

1-1 中村 桃子「流星ワゴンを読んで」(重松清『流星ワゴン』)

2-6 佐原 脩飛「AIと未来」(落合陽一・堀江貴文『10年後の仕事図鑑』)

2年生 進路講演会

■ 10月2日(火) 2学年主任 森崎 悟

中間考査最終日の午後に進路講演会を行いました。講師に北九州予備校の大山純治先生をお招きし、「入試攻略法 高校生の今だから知っておいてほしいこと」と題して、受験生の心構えについて講演をしていただきました。生徒たちも大いに刺激を受け、勉強に対して気持ちを新たにしていました。



講演会の様子

PTA秋季研修会のお知らせ

平成30年度島原地区高等学校・特別支援学校 PTA 連合会秋季研修会
【12月1日(土) 13:40~17:00 於 ホテル南風楼】



「今、親は何をすべきか」を大会テーマに、長崎県消費生活センターの青崎孔氏による講演などが行われます。詳細につきましては、10月17日(水)にプリントを配付しておりますので、ご確認ください。多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。



昨年の講演の様子